

フローはんだ付用ポストフラックス  
**WAVE SOLDERING FLUX**

# NS-F851

eFlux

良好なはんだ切れと、確かなぬれ上がり

「NS-F851」は鉛フリーはんだ対応のポストフラックス。  
はんだ切れが良好で、ブリッジの発生を抑制する働きに優れており、  
フローはんだ付けにおいて確実な実装に貢献する製品です。  
ぬれ上がり性もよく、確実な接合を可能にします。



無洗浄

フロー用

スプレー  
(発砲対応)

鉛フリー  
はんだ用

はんだ切れ  
良好

ぬれ上がり  
良好

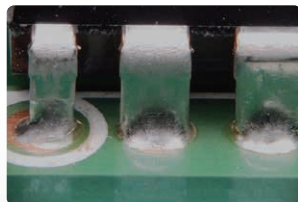
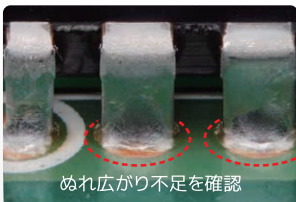
残渣外観  
良好

**ぬれ上がり性** 確実なぬれ上がりをサポート

■ IC DIPの比較 (プリヒート温度105~115°C / ピーク温度245~250°C)

比較品

NS-F851

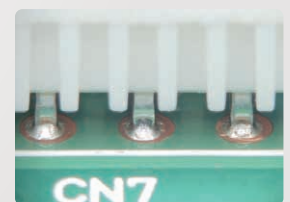
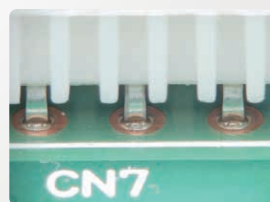


**スルーホール上がり** 美しいフィレットを形成

■ CNチドリコネクタの比較 (プリヒート温度110~120°C / ピーク温度245~250°C)

比較品

NS-F851

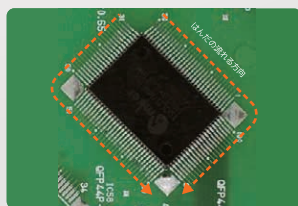
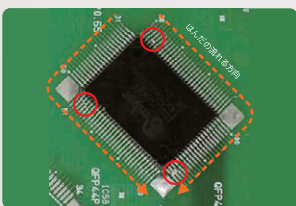


**はんだ切れ性** ブリッジを抑え均一な仕上がり

■ はんだ付部の外観写真 (○ブリッジ発生ポイント)

比較品

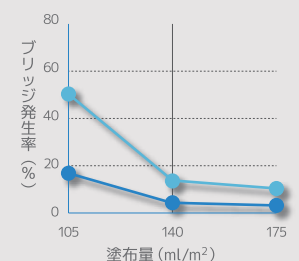
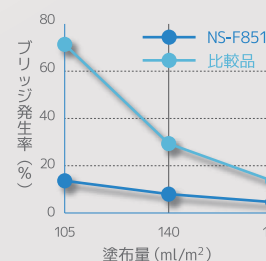
NS-F851



**ブリッジ発生率** 各温度において発生を抑制

■ プロファイル条件 1  
(プリヒート温度 105~115°C / ピーク 245~250°C)

■ プロファイル条件 2  
(プリヒート温度 110~120°C / ピーク 255~260°C)



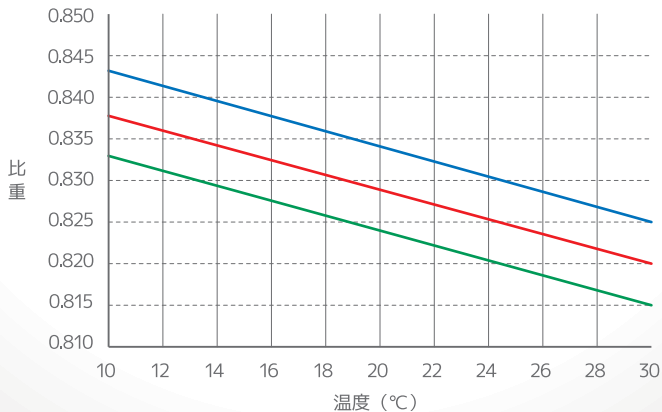
※上記データ、写真は特定条件下によるものです。

特 性

項目	NS-F851	試験方法
形状	液体	—
色調	淡黄色	目視
フラックスカテゴリ※1	ROL1	ANSI / IPC J-STD-004A
固形分含有量試験 (mass%)	15.5	JIS Z 3197 8.1.3
酸価試験 (mgKOH/g)	34.0	JIS Z 3197 8.1.4.1.1
ハライド系活性剤含有量試験 (mass%)	0.080	JIS Z 3197 8.1.4.2.1
比重試験 (20℃)	0.829	JIS Z 3197 8.2.2
はんだ広がり法 (%) SN100C	78以上	JIS Z 3197 8.3.1.1
銅板腐食試験	合格	JIS Z 3197 8.4.1
絶縁抵抗試験※2 (Ω)	1.0×10 <sup>9</sup> 以上	JIS Z 3197 8.5.3
マイグレーション試験※3	発生なし	JIS Z 3197 8.5.4
引火点 (℃)	12	—

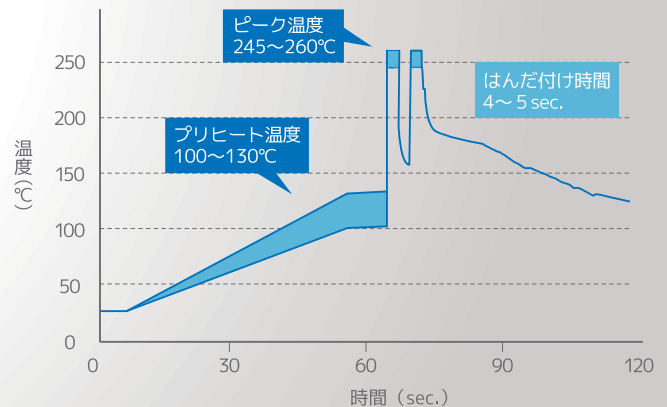
※1 フラックスカテゴリ (活性レベル) : ロジン系L1タイプ ※2 絶縁抵抗試験 : くし形基板85℃ 85% RH 168hr ※3 マイグレーション試験 : くし形基板85℃ 85% RH 1000hr

比重管理曲線



※濃度調整には、専用希釈剤NS-700をご使用ください。

推奨温度プロファイル



カタログに記載されていない製品やサイズについてはお問合せください

ホームページ [www.nihonsuperior.co.jp](http://www.nihonsuperior.co.jp)



日本スペリアで一発検索!

- 本 社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-16-15NSビル  
TEL : 06-6380-1121 FAX : 06-6380-1262
- 東京営業所 〒135-0042 東京都江東区木場2-7-15第一びる別館4F  
TEL : 03-3642-5234 FAX : 03-3642-5257
- 名古屋営業所 〒466-0059 名古屋市昭和区福江2-5-4-802  
TEL : 052-882-6011 FAX : 052-871-2434
- 海 外 シンガポール・マレーシア・タイ・ベトナム・中国 (蘇州・上海・東莞・香港)  
台湾・アメリカ

株式会社 **日本スペリア社**

**SN100C** 株式会社日本スペリア社の登録商標です。  
Registered Trade Mark of Nihon Superior Co., Ltd.

注) このカタログは2018年5月現在のものです。  
仕様などの記載事項はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。  
本カタログに記載されているデータは特定の条件下によるもので、その数値を保証するものではありません。  
ご使用の際には実際にご使用になる適合性およびSDSをご確認の上、適正な取扱・管理・廃棄等を行ってください。

